



金透坂



令和7年10月24日（金） 学校だよりNo.36

発行責任者 校長 嶋 忠夫

いよいよ明日、金透フェスタ「学習発表会」です！

明日、10月25日（土）は金透フェスタ「学習発表会」です。子どもたちは、これまで学んだことを保護者の皆様、地域の皆様に伝えたいという願いをもとに、各学年で工夫を凝らしながら準備を進めてきました。また、保護者の皆様に、近いところで自分たちの学習の成果を見ていただきたい、近くでクイズを出したいという思いがあり、今年度は、保護者の皆様の席をメインに会場を作成し、発表する学年の保護者の皆様が一番前で、子どもたちの発表を見られるようにしました。発表の中では、子どもたちからのクイズもあるようです。ぜひ、参加して子どもたちの発表を楽しんでください。



当日、子どもたちは参観しませんので、昨日、リハーサルを兼ねて互いの発表を見合いました。それぞれの学年の発表を見て感想を述べあったり、6年生からは、「金透フェスタを全校生で最高のものに作り上げたい」という熱い思いが次々に出されたりして、金透 ONE TEAM でがんばろうという子どもたちの意欲は最高潮でした。今年度、新しい形で実施しますが、ぜひ、子どもたちの活躍を楽しみにご来校ください。

また、午後からは、帝京安積高等学校和太鼓部の演奏に始まり、楽しい金透バザーも予定されています。PTA 役員の皆様、厚生部の皆様、ボランティアの皆様、どうぞよろしくお願いいたします。たくさんの方のご来場をお待ちしております。

叱るということ・・・

前号で、就学前子育て講座の内容をお知らせしましたが、「しかり方」については紙面の都合上書けませんでしたので、今回書かせていただきます。

志村先生は、絶対に叱らなければならない場面として3つの場面をお話しされました。

「迷」「傷」「法」の場面です。「迷惑をかける」「人を傷つける」「法律に触れる」ときです。社会適応に必要な知識やスキルを教えるのは親の責任です。子どもたちが社会に出たときに困らないようにしっかりと教えていかなければなりません。しかし、「叱る」ことは「ほめる」ことより難しいと感じている方も多いことでしょう。

以下の叱るときのポイントを参考にしてみてください。

- ① 子どもの目を見て、愛情をもって叱る。
- ② 理由を説明し、小さな声でゆっくり叱る。
- ③ 叱るタイミング・場所を考えて叱る。
- ④ 次の行動に生かせるように叱る
- ⑤ 叱った後のフォローを大切に。

